

河川事業概要

2022

大和川



すみだリバーウォーク



草木ダム
(水資源機構)



信濃川やすらぎ堤

Contents

I 我が国の水害リスクの現状

水害リスクの高い日本	3
都市化により高まる水害リスク	4
気候変動により高まる水害リスク	5
令和3年7月1日からの大雨	6
令和3年7月1日からの大雨	6
による土砂災害	7
令和3年8月11日からの大雨	8
令和3年8月11日からの大雨	8
による土砂災害	9

II 河川事業の基本的な考え方

激甚化・頻発化する水災害等への	
防災対策の推進	10
治水対策の考え方	11
戦略的維持管理・更新	12
防災情報の収集・提供	14

III 施策の紹介

気候変動を踏まえたハード・ソフト一体となった水災害	
対策の方向性	15
「流域治水」の推進に当たっての法的枠組みの活用	16
防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策	17
利水ダム等の事前放流の推進	18
高台まちづくり（高規格堤防等）の推進	19
100mm/h 安心プラン	20
河川防災ステーションの整備	21
防災情報の提供と活用	22
TEC-FORCEの活動	29
水防団の活動	32
多自然川づくり	33
生態系ネットワークの形成	34
「かわまちづくり」支援制度	35
河川協力団体	36
河川敷地占用許可準則の緩和措置	
（河川空間のオープン化）	37
ミズベリング・プロジェクト	38
「子どもの水辺」再発見プロジェクト、水辺の楽校	
プロジェクト	39
水源地域ビジョン	40
インフラツーリズム	41
小水力発電の導入促進	42



要配慮者施設での避難訓練

IV 事業の紹介

事業の体系図	43
洪水氾濫を未然に防ぐ対策[河道改修]	44
洪水氾濫を未然に防ぐ対策[洪水調節施設の整備]	46
洪水氾濫を未然に防ぐ対策[構造物の改築]	47
流域一体となった治水対策	48
「流域治水」の推進に当たっての法的枠組みの活用	49
再度災害防止対策	50
高潮対策、地震・津波対策	51
自然環境の保全・創出	52
流水の正常な機能の維持	53
水環境の改善、地域の取組と一体となった水辺空間の形成	54
戦略的維持管理・更新	55
戦略的維持管理・更新、機能の回復又は向上	56
地域主導の川づくり	57
税制	58

V 事業効果

令和3年8月の大雨の状況及び治水対策の効果	59
治水対策の効果（太田川水系河川改修）	60
治水対策の効果（川内川水系河川改修・鶴田ダム再開発）	61
利水ダム事前放流の効果（信濃川上流ダム）	62
下水道事業の効果（八代市都市浸水対策）	63
砂防事業の効果	64
経済効果	65

VI その他

日本の河川概要	68
川のことば・基礎知識	69
法改正の経緯	71
河川イベント情報	73